

# 埼玉親善大使レポート

Diciembre de 2015

長山優子

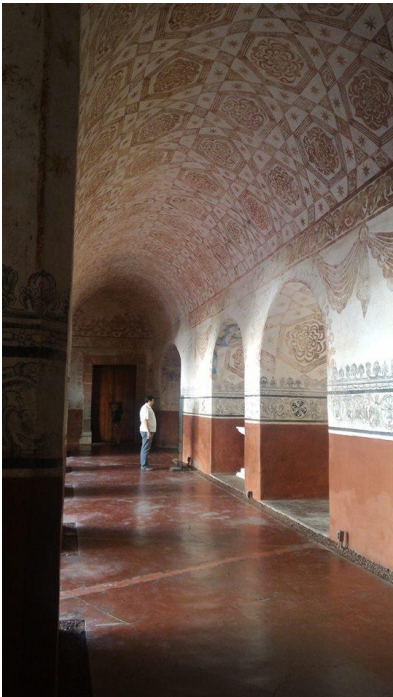
## 長いお休みの始まり

12月中旬から一か月程度の冬期休暇が始まりました。まさに、旅行推奨期間と言えます。この期間中、友人と旅行に行き、また家族がここメキシコに来てくれました。このプログラムでは、メキシコ国外に出ることは禁じられているので、家族の訪問はとても嬉しいものでした。

## Cocoyoc～Tepoztlanの旅

車でメキシコシティから2時間ほど、クエルナバカにほど近い場所に、Cocoyoc(ココヨック)という別荘地があります。メキシコ人の友人のご厚意で、彼女の別荘に4泊ほどさせていただきました。

山に囲まれたシティから少し下ると、急に暑くなってきます。ココヨックでは半袖1枚でもちょうどいい気温で、初夏の日本のようです。彼女の別荘には小さなジャグジー付きのプールがあり、昼は水浴び、夜はジャグジーで入浴と、1日中贅沢な時間を過ごさせていただきました。



修道院内

この旅行中訪れた Tepoztlan(テポストラン)。紛らわしい名前の町がもう一つメキシコシティの北にあります。その名も Tepoztlan (テポツトラン)。どちらもメキシコが制定した魔法のように魅惑的な街「Pueblo Mágico」として有名な街ですが、名前が分かりにくい、私たち外国人にはちょっとややこしい地名です。

さて、テポストランの観光名所は修道院跡とピラミッド。町の中心街にある屋台ではスペイン占領前の食事や、Tepoznieve(テポスニエベ)という様々な種類のアイスが楽しめます。

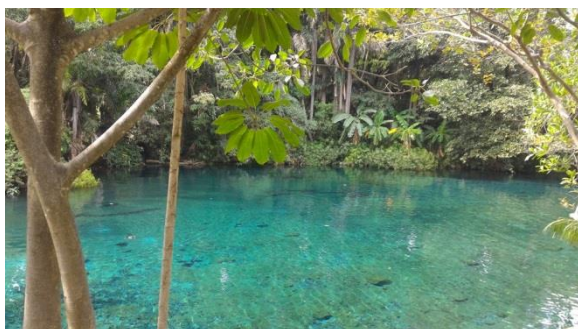
修道院跡の建築は、まるでスペインのアンダルシア地方の教会のようなムデハル様式。中心に中庭と噴水があり、壁の装飾はアラビア文化圏の建築様式

に用いられるような幾何学模様が描かれています。かつてメキシコを占領したのはスペインアンダルシア地方の人々。自分の生まれた土地の風景をここに再現しようとしたのだろうと推測できます。修道院からの山の景色はとても素敵で、見入ってしまうほどでした。

屋台では、雑穀をおにぎりのように丸めたものをトルティーヤで巻いたものをいただきました。私たち日本人の口にも合う素朴な味です。また、このお店の近くでは Chaplin（「チャプリン」バッタのこと）という食べ物も味見しました。このチャプリン、虫を食べることに慣れてない私には、足が歯に挟まる感覚が苦手でしたが、これもまた一興です。



征服前の料理。素朴な味。



Las Estacas の綺麗な川

ココヨックから車で一時間離れたところには、Las Estacas（ラス・エスタカス）という、水上公園があります。私たち埼玉県民の想像するものとは違い、ここは川をベースに作られたところで、この川の水はエメラルド色。水深は3メートルはあるでしょうか。とにかく景色を見るだけでも綺麗で感動するところでした。少しばかり泳ぎま

したが、標高が1000メートル以上の高いところにいるからか、息継ぎがうまく行かず、浮き輪が大活躍しました。ここは外国人にも人気が高いようで、外国の方もちらほら見受けられました。

今回の旅では、自然を満喫した4日間を過ごすことが出来ました。自然にはあまり興味がなかった私ですが、日本と違う風景を見ることが出来、メキシコの自然の豊かさに感激した旅行でした。



Tepztlan 修道院にて。